

## 目 次

ページ	
巻頭	<b>付録</b> 平成 27 年度農業農村工学会大会講演会
1	<b>展望</b> 新たな基本計画の実現に向けて中国地域からの発信と横展開 田中秀明
5~24	<b>小特集</b> 中国地方における農業農村整備の特色と展開
5	鳥取県における農業農村整備事業について 田村晴久・谷口真紀・加藤善章・木下 治・西田幸生
9	島根県の農業農村整備の展開方向 多久和卓志・堀野 章・綿貫純也・桑本 巧
13	晴れの国おかやまの農業農村整備 舟越三嗣・谷本浩一
17	広島県におけるため池耐震診断の実施と評価について 砂田健一郎・池田浩之・佐々木拓治・海堀正和
21	山口県における農業農村整備の展開方向 錢本 徹
26~39	<b>技術レポート</b>
26	北海道支部：妹背牛地区における区画整理後の営農時間節減効果 長土居智直・九本康嗣・川崎 勇
28	北海道支部：既設水路を有効活用した畑地灌漑施設整備とその効果 菅原 央・芳賀是則
30	東北支部：芝野頭首工における鋼製起伏堰（ゴム袋体支持式）の施工事例 澤井 充
32	関東支部：鋼板内張り工法による農業用水暗渠の補強対策の設計と施工 根津正伸
34	京都支部：所管の異なるダム群の利水連携による用水の確保 三好真二
36	中国四国支部：用水供給事業における管理計画の役割 寺澤明人・落井康裕
38	九州沖縄支部：伊江地下ダムにおける注入工法による止水壁造成施工事例 中司昇吾・神里 守・持田賢治
40	<b>小講座</b> GPS 測量から GNSS 測量へ 守田秀則
41~64	<b>コミュニティ・サロン</b>
42	私のビジョン 「実務」と「研究」の架け橋 珠玖隆行
44	スクール便り “原点回帰” 地域で活躍する専門技術者の育成を目指して —山口県立山口農業高等学校 環境科学科— 伊藤顕一
46	<b>Cover History</b> 東西用水 南配水樋門 —表紙写真由来— —岡山県倉敷市— 谷本浩一
48	<b>通信教育</b> 技術者継続教育機構 第 117 回通信教育問題
51	<b>CPD ニュースレター第 19 号</b> 農業農村工学会技術者継続教育機構 活動の現状と課題—地方委員会での議論から—
54	<b>部会報告</b> 第 32 回農業農村情報研究部会勉強会開催報告 —次世代型農業水利サービスの展望—
56	<b>支部講演会報告</b> 中国四国支部（第 69 回）
63	<b>ニュース</b> 学会ニュース
64	国内ニュース
65	<b>インフォメーション・コーナー</b>
巻末	既刊の土地改良事業計画設計基準の正誤表

### 東西用水 南配水樋門（谷本浩一）

シンメトリへなるもの既視感が与えられる景観だが、よく見ると微妙なズレに気づき、そしてさらに水量に応じた橋脚にも相当するだろう樋門の数と水路の幅の違いを気づかせられる。目の錯覚を遊ばせるかのようなこの写真は、さかのぼってやはりシンメトリカルな撮り方の巧妙さにある。

15 の配水樋門が並ぶ写真の南配水樋門は、日本最大の農業用樋門と評価されているようだ。鳥取県境に近い新見の花見山麓を源流として高梁市・総社市を経て、倉敷市で水島灘に注ぐ高梁川は、岡山県西部を流れる一級河川。その倉敷には江戸時代から続いた干拓と高梁



**Feature Section** : Prefectural Efforts for Rural Improvement and Agricultural Consolidation  
in the Chugoku District

Situation of Agricultural Infrastructure Improvement in Tottori

*TAMURA Haruhisa, TANIGUCHI Maki, KATO Yoshiaki, KINOSHITA Osamu*

*and NISHIDA Yukio*.....5

Situation of Agriculture and Development Direction of Agricultural Infrastructure

Improvement in Shimane Prefecture

*TAKUWA Takushi, HORINO Akira, WATANUKI Junya and KUWAMOTO Takumi*.....9

Agricultural Infrastructure Improvement in Fine Country Okayama

*FUNAKOSHI Kazutsugu and TANIMOTO Kouichi*.....13

Enforcement and Evaluation of Earth Dam Seismic Diagnosis in Hiroshima Prefecture

*SUNADA Kenichirou, IKEDA Hiroyuki, SASAKI Takuji and KAIBORI Masakazu*.....17

Development Direction of Agricultural Infrastructure Improvement in Yamaguchi

Prefecture

*ZENIMOTO Tohru*.....21

**Technical Reports**

An Improvement of Farming Efficiency by the Land Readjustment Project in Moseushi

Town

*NAGADOI Tomonao, KUMOTO Yasushi and KAWASAKI Isamu*.....26

Effect of Constructing Upland Irrigation System by Utilization of Canal

*SUGAWARA Hisashi and HAGA Korenori*.....28

Steel and Rubber Hybrid Gate of Sibano Head Works

*SAWAI Michiru*.....30

Design and Construction for the Reinforcement of Irrigation Culverts by the Lining

with Steel Plates

*NEZU Masanobu*.....32

Securing Water for Irrigation by Cooperation of Water Utilization between Dams under

the Different Control

*MIYOSHI Shinji*.....34

Roles of the Management Plan in the Water Supply Project

*TERAZAWA Akito and OCHII Yasuhiro*.....36

A Construction Example of Impervious Underground Wall with Grouting Method

in the Ie Underground Dam

*NAKATSUKASA Syogo, KAMIZATO Mamoru and MOCHIDA Kenji*.....38

**Technical Word**

Survey with from GPS to GNSS

*MORITA Hidenori*.....40

書評○東大ハチ公物語—上野博士とハチ、そして人と犬のつながり 一ノ瀬正樹・正木春彦 編著 (成岡 市) ...25  
お知らせ

○関西大学環境都市工学部都市システム工学科教員の公募について.....55

○「農業水利施設のストックマネジメント技術シンポジウム」の開催について.....62

、川が運ぶ多量の土砂によって広大な土地の穀倉地帯が形成され、そこへの用水を担ったのが高梁川。多くの樋門から取水していたが洪水被害が連続したことから、明治末年に国が高梁川改修工事に着手し、併せて各樋門を統合して写真の場所・酒津に取水樋門と配水池をつくって、14年の歳月をかけて大正末年に完成されたとある。

なお、農業用水を合理的かつ公平に配分することを目的に、大正5年に「高梁川東西用水組合」が設立されている。

端正なこの樋門が美しくいまも健在なのは、周到な管理もさることながらこの景観を愛する人々のまなざしがあればこそあらためて施設と人々の親和性を印象づけられることだ。  
(講評 東京造形大学名誉教授 柳本尚規)